



**NIPPON SALVAGE**  
Since 1934

# 会社案内

# トップメッセージ

日頃より、弊社の事業活動に多大なるご理解・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。  
ございます。

弊社は1893年（明治26年）、三菱長崎造船所海難救助部としてその創業の第一歩を印して以来、今日に至るまで太平洋をはじめ世界の海を仕事場として海難救助事業を展開してまいりました。

さらに現在では地球環境保全を求める世界的な関心の高まりを受けて、海難船からの油や有害物質の除去・防除や船骸の撤去等の事業活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動を通じて海洋環境の保全にも貢献しております。

このような万一の場合に備えて弊社では救助船や作業船のほかに最先端の各種作業資機材を拡充整備するとともに、救助スタッフは高度な技術とノウハウに加えて強い情熱と使命感を持って日々業務に従事しております。

また海難救助事業で長年培った技術とノウハウを活用して、海洋事業分野へも活動範囲を拡大し、海底電力・通信ケーブルの布設をはじめとする海洋開発事業にも積極的に取り組みお客様のご要望にお応えしております。

私どもは海難救助事業と海洋工事事業をはじめとする事業活動を通じてより一層社会に貢献し、未来へ向かって大きく躍進して行きたいと考えておりますので、今後とも日本サルヴェージへのご理解とご支援を引き続きお願い申し上げます。

日本サルヴェージ株式会社 取締役社長

関根 和人

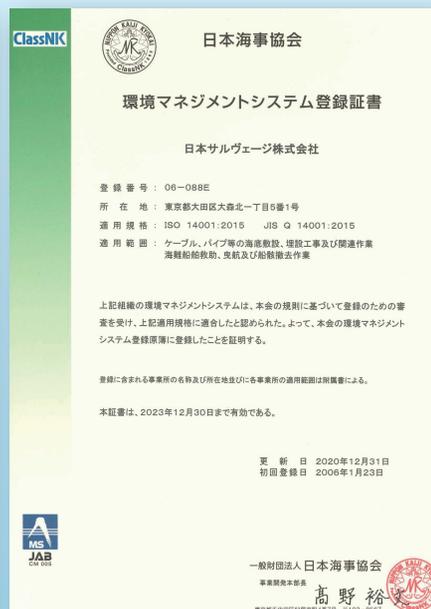
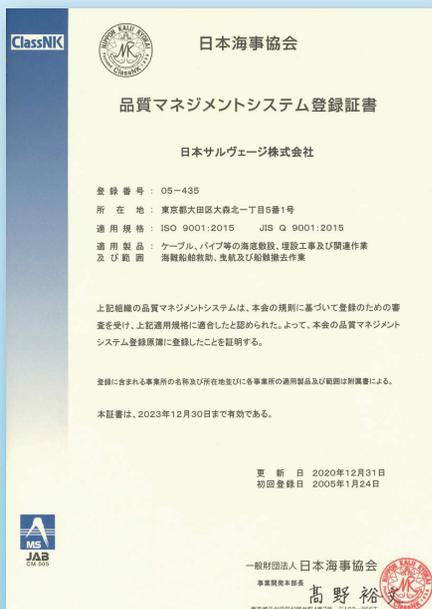
# 主要な株主情報

- ・東京海上日動火災保険株式会社
  - ・三井住友海上火災保険株式会社
  - ・損害保険ジャパン株式会社
  - ・トーア再保険株式会社
  - ・コグニビジョン株式会社
  - ・株式会社自研センター
  - ・株式会社損害保険リサーチ
  - ・AIG 損害保険株式会社
  - ・東京海上日動ファシリティーズ株式会社
  - ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
  - ・三菱重工業株式会社
  - ・寄神建設株式会社
  - ・共栄火災海上保険株式会社
  - ・日本郵船株式会社
  - ・株式会社商船三井
- (順不同)

# 各種承認及び認証



## NK、KR、LR の水中検査承認



当社は日本船級協会 (NK)、韓国船級協会 (KR)、ロイド船級協会 (LR) より水中検査事業所としての承認を受けております。

また、当社品質マネジメントシステムは ISO 9001:2015 及び ISO 14001:2015 の適用規格に適合しております。

## ISO の認証

# 事業案内



私たち日本サルヴェージは、遭難船を救出し環境損害を防止・軽減するエキスパート。あらゆる緊急対応のため24時間365日昼夜を問わず常に出勤態勢を整え、さまざまなリスクをはらむ遭難現場の最前線で戦い続けています。

## 1. 海難救助事業

- (1) 財物救助 ——— 船舶・積荷の救助
- (2) 環境救助
  - 船骸撤去
  - 油・汚染物質の防除・回収
  - 沈没物件の捜索／回収  
・ 損傷貨物の処理等

## 2. 海洋開発事業

- (1) 海底ケーブル工事
- (2) 海底送水管工事

## 3. その他作業

- 曳航輸送
- 海洋調査
- いろいろな洋上作業

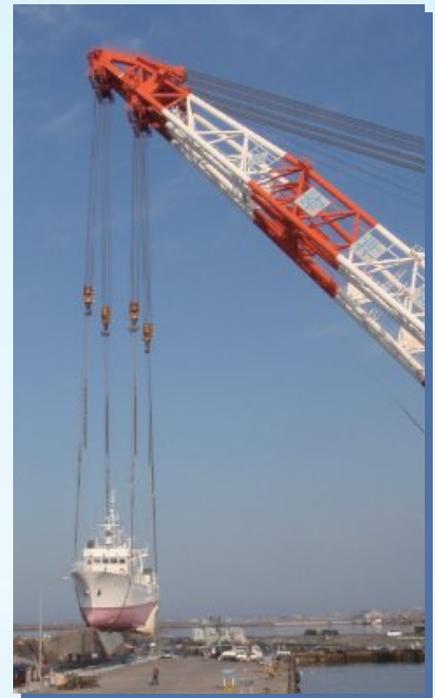
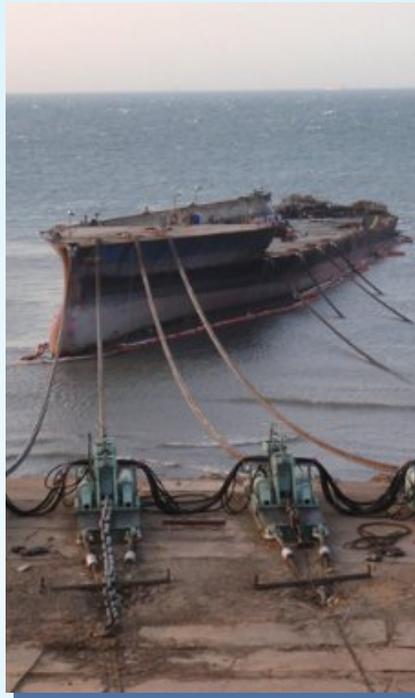
## 船舶・積荷の救助

私たちは創業以来 120 年以上にわたって蓄積してきた経験とノウハウ、高度な技術力に加え、救助船「航洋丸」や飽和潜水装置をはじめ数多くの救助設備をもって、海難救助が必要な万一の事態に常時備えています。当社は海外の多くのサルベージ会社や現地業者との密接な協力関係を維持しており、海外での海難救助にも積極的に対応しています。



## 船骸撤去

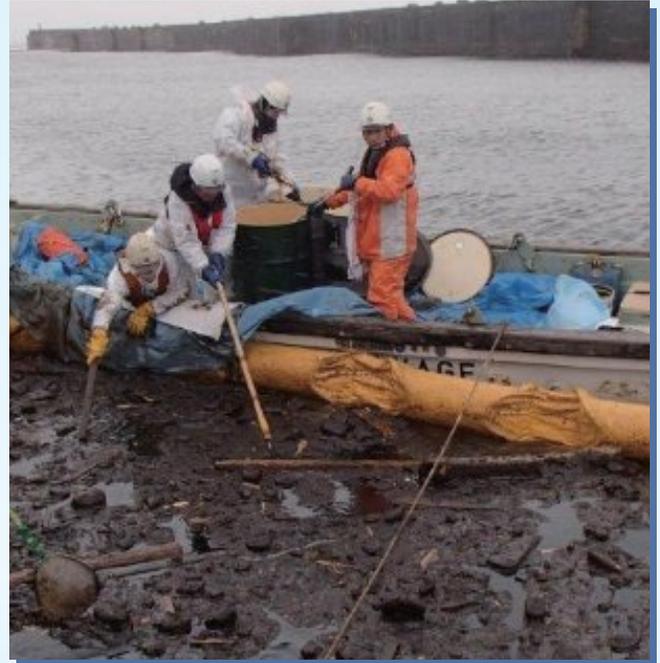
沈没、爆発、座礁などにより海洋環境に損害をおよぼす船骸やその積荷燃料を、これまでの救助作業で培った経験や知識、独自の技術を駆使して現場より撤去のうえ、法令に則り適正に処理します。





## 油・汚染物質の防除・回収

船舶より油や汚染物質が海洋に流出すると、その海洋汚染損害は計り知れません。当社では流出油や汚染物質の防除、回収、清掃の機材を出動させる体制を整えており、迅速に現場に出動し油や汚染物質の回収、汚損箇所の清掃などの必要な作業を行います。





## 沈没物件の捜索／回収・損傷貨物の処理等

海没した航空機やその部品、船舶の水中翼、岸壁や工事現場などから流出したコンテナや工事資機材など、回収しなければならない物品の海没位置を捜索・回収作業を行います。また、危険を伴う損傷貨物の瀬取なども行います。



## 海底ケーブル工事

海底に布設するケーブルには、電力ケーブル、通信ケーブル、観測ケーブル、またこれらの機能を合わせ持つ複合ケーブルがあります。

電力も通信も生活になくてはならず、また地震、津波の観測ケーブルも研究目的だけでなく生活を守る重要なインフラです。

当社ではこれらのケーブルの布設工事を行っています。

今後各地で本格化する洋上風力の発電設備の海底ケーブル布設工事においても、当社の実績を生かしながら取り組んでいます。





## 海底送水管工事

もう一つの重要な社会インフラである水。

当社では、海底ケーブルの布設工事と同様に海底送水管の布設工事も行っており、離島を中心とした社会インフラ構築に貢献しております。

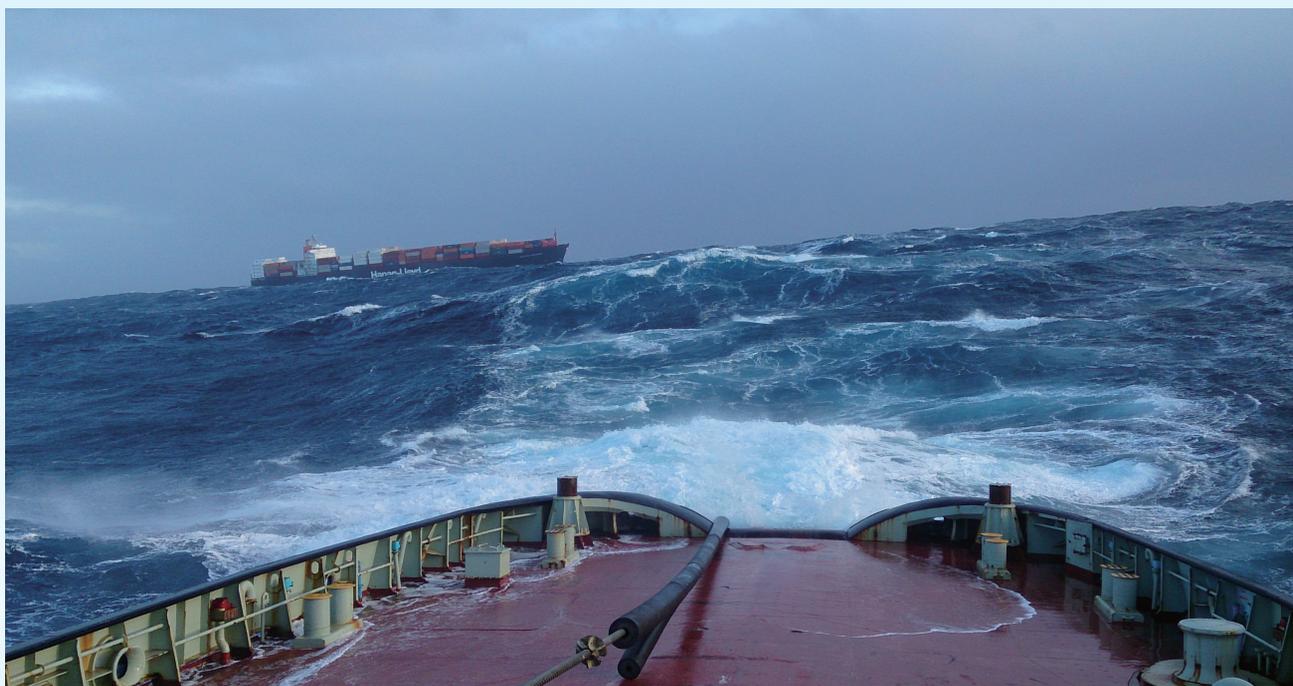
また、この技術を応用した海洋深層水取水管の布設工事の実績も多数有しております。





## 曳航輸送

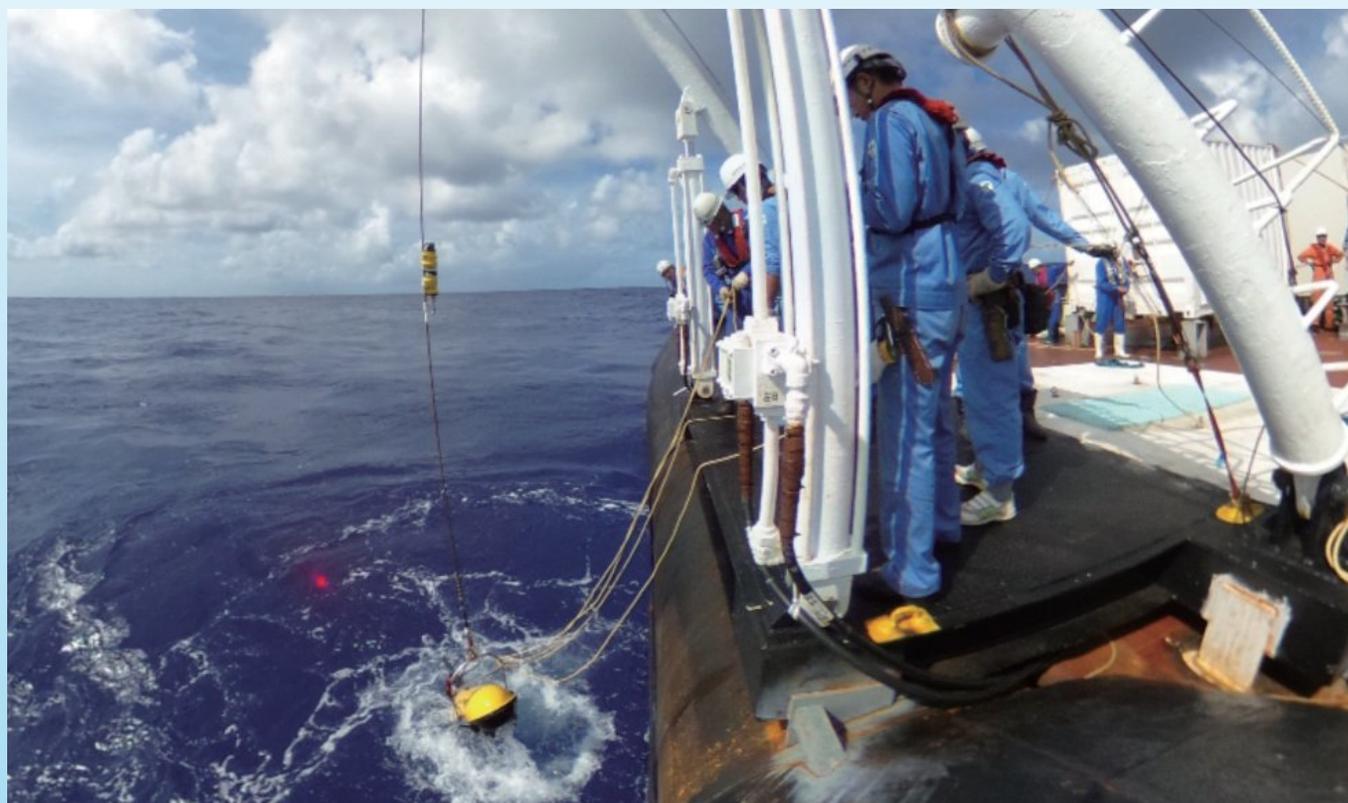
海難救助に係る曳航作業以外にも、洋上設備等の曳航を国内最大級の曳航力を備える航洋丸により行います。





## 海洋調査

当社社船や水中遠隔操縦ロボット（ROV：Remotely Operational Vehicle）により、海底資源調査や環境調査に必要な作業環境を提供し、経験豊富なスタッフにより観測装置の降下、揚収作業を安全に行います。



## いろいろな洋上作業

ダム湖での潜水作業、ブイ設置作業、洋上・水中における試験作業等、お客様の要望に応じ各種の洋上・水中作業に対応します。



# 船舶一覽



	種別	船名	国際総トン数	曳航力 船体寸法	詳細 PDF
	救助船	航洋丸	2,906	161.2mt 80.64M x 15.50M x 6.75M	
	救助船	航洋丸	2,474	132.5t 86.08M x 14.5M x 6.70M	
	救助船	早潮丸	497	53.09t 45.13M x 10.00M x 4.30M	
	台船	開洋	3,530	80.00M x 26.00M x 5.00M	
	台船	海進	3,042	70.03M x 26.00M x 4.50M	
	台船	正国	2,215	60.00M x 24.00M x 4.50M	
	台船	海島	1,408	60.00M x 24.00M x 4.00M	

# 機材一覧



	名称	適用水深	詳細 PDF
	ROV(1000m) QUASAR8	10 ~ 1,000m	
	ROV(3000m) QUASAR9	10 ~ 3,000m	
	ROV(300m) FALCON	1 ~ 300m	
	ROV(500m) KWK	1 ~ 500m	
	飽和潜水機材	40 ~ 300m	
	ジェット式ケーブル埋設機 アクアジェット	0 ~ 35m	

※ROV: Remotely Operational Vehicle (水中遠隔操縦ロボット)

# 本社・支店・営業所・連絡所



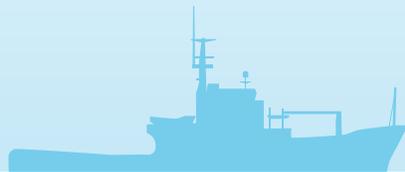
## 日本サルヴェージ株式会社

本 社 〒143-0016 東京都大田区大森北1-5-1 JRE大森駅東口ビル8階  
TEL : 03-5762-7171 (代表) FAX : 03-5762-7177

門司支店 〒801-0804 福岡県北九州市門司区田野浦海岸15-73  
TEL : 093-321-0937 (代表) FAX : 093-331-9466



## 海難事故緊急連絡先



緊急を要する海難事故の場合は下記部署にご連絡ください。

**TOKYO** 24時間365日対応 tel 03-5762-7172

東 京

本社サルベージ業務部

**MOJI** 24時間365日対応 tel 093-321-0937

北九州

門司支店サルベージ業務課